

# まあ、よんでみて!

16号 2008年 冬号

発行日 2008.2.22.

## 目次

臨床における補装具製作	2
補装具作製における制度選択のフローチャート	2
治療用装具の手続き方法	3
北京パラリンピック選手紹介	4



写真：中西 小百合

皆さんは車椅子で行う競技を知っているでしょうか。障害者スポーツの中でも今回は“ウィルチェアラグビー”で活躍する選手を紹介します。

この方にも理学療法士が関わっていたようです。

## 特集～補装具作成～

リハビリテーション医療において、補装具は重要な手段の一つである。一方、補装具を製作するときの利用制度が少しずつ変わってきています。患者さんへの処方の流れにおいて、すぐに利用できない制度があるなど困った経験はないでしょうか。今回はこの制度の現状についてまとめてみました。

### “まあ、よんでみて!”が変わります

障害者福祉部員の編制により新しい部会がスタートしました。今回はその記念すべき第1弾(まあ、16号ですけど)です。

発刊：(社)大阪府理学療法士会 障害者保健福祉部

〒540-8790 大阪市中央区常磐町1-4-12-301 TEL06-6942-7233 e-mail:disabled@physiotherapist-osk.or.jp

印刷所：身体障害者授産施設 大阪ワークセンター 〒594-0031 和泉市伏屋町5-10-11 TEL 0725-57-0883

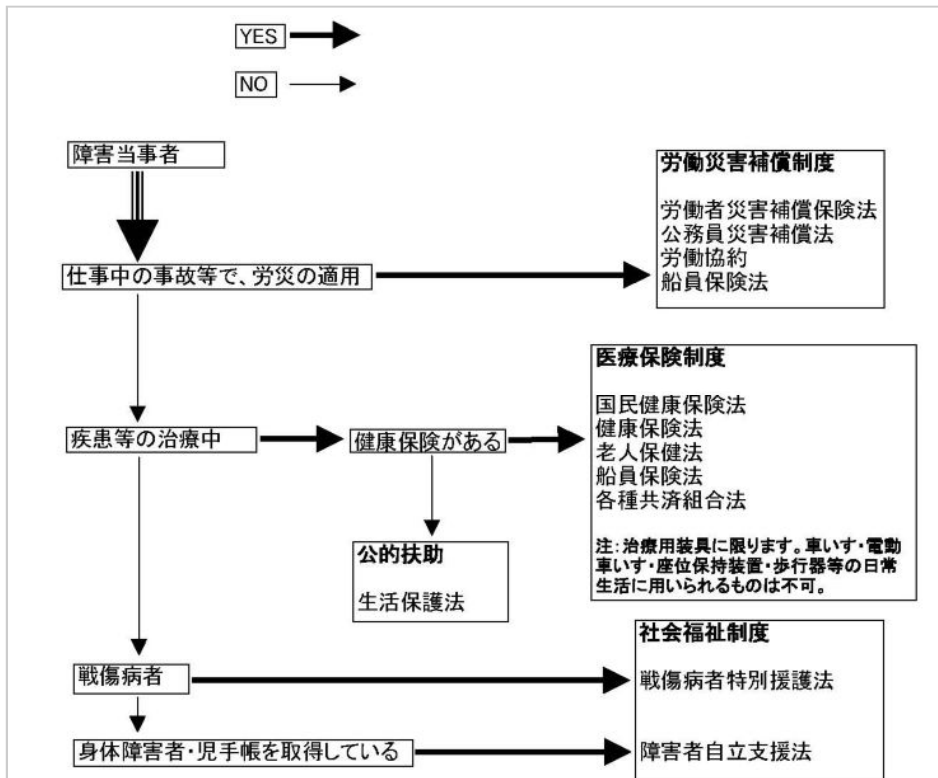
## 臨床における補装具製作

補装具製作において、理学療法士として関わりを持つ場合、患者様に対して処方の流れを経験するはずですが、

主治医に報告し、義士装具士の介入、理学療法士としては身体機能の情報提供を行いながら補装具は作られています。その流れの中、補装具製作の制度はいったいどうなっているのでしょうか。

### 補装具製作における制度選択のフローチャート

作成協力：小畑さん(川村義肢)



左の図で当事者にはどういった制度が当てはまりそうかな??



※医療保険制度(治療用)にて製作される場合には、補装具代金を業者に全額立替払いする必要があります。補装具を受け取り支払いをした後、医師の意見書・業者の領収書・療養費支給申請書を各健康保険へ提出、申請を行います。その後各健康保険より補装具代金が返金されます。

※各種医療受給者証(老人・乳児・障害・ひとり親)をお持ちの方は健康保険からの返金後、市区町村役所の各係にて残りの負担分(3~1割分)返金の申請を行ないます。(助成を受けることが出来る対象者の範囲等については市区町村によって異なりますのでお住まいの各医療費助成担当者にお問い合わせ下さい。

※医療保険制度以外での補装具製作では最初に各市区町村または各関係施設に申請をする必要があります。

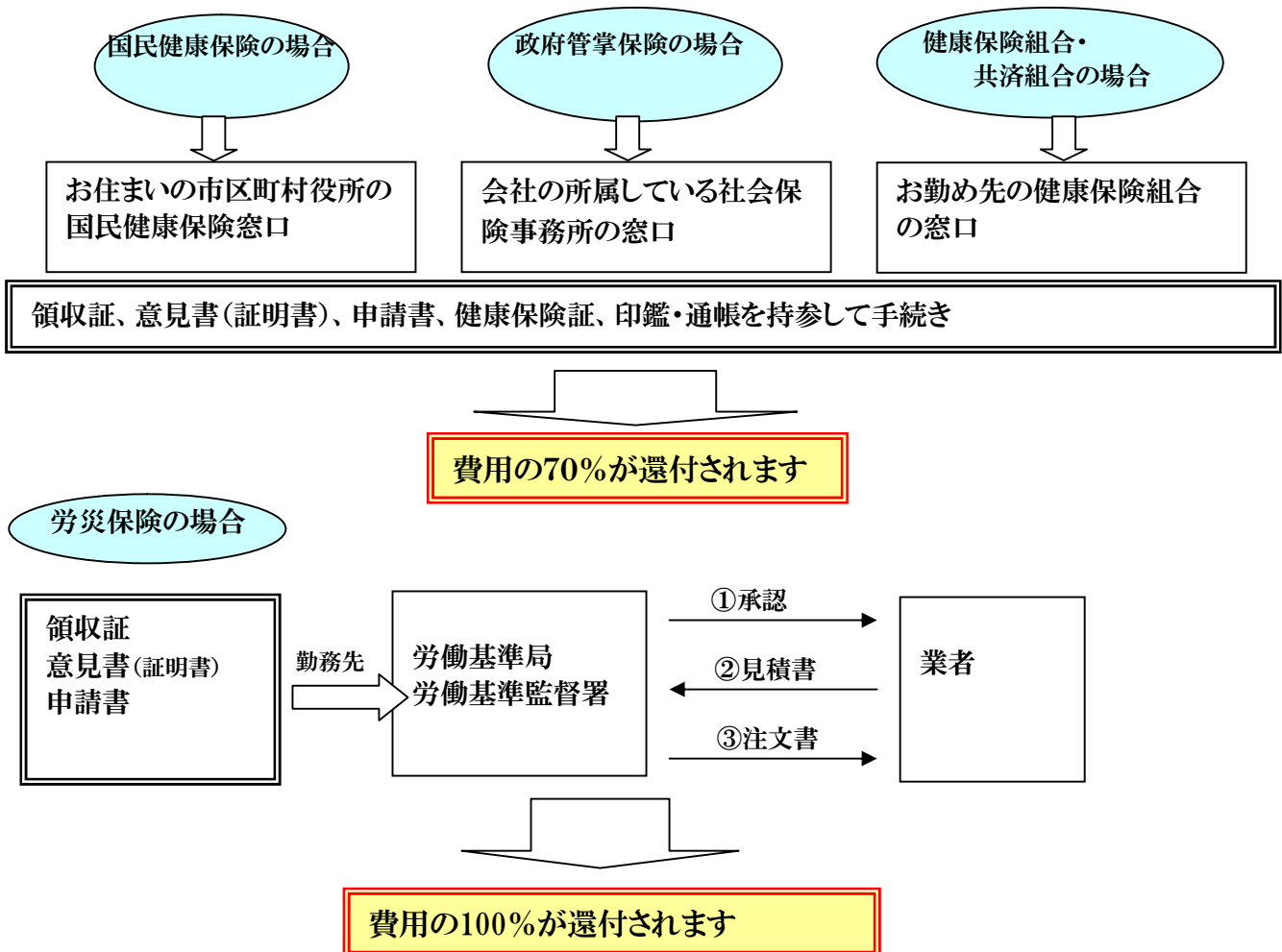
※車いす・電動車いす・歩行器・歩行補助つえの既製品については介護保険での貸与が優先されますが、身体状況に応じて個別に対応が必要と判断される障害者については補装具として支給の対象になります。

## 治療用装具の手続き方法

治療のための補装具を作成したときに、費用の一部が補助されます。但し、利用できる保険によって手続きの方法が違います。

ここでは、60歳で片麻痺となり短下肢装具が必要となった場合の事例について、健康保険と労災保険の場合を紹介します。

装具を作成するには、一度全額を立て替えます。その後、以下のように手続きを行なうことで一部もしくは全額が還付されます。



但し、上限があり装具によっては一部負担金が生じる場合があります

- ・療養費支給申請書は各保険窓口にて取り寄せてください。
- ・療養費支給申請書を記入する際には、印鑑・保険証・銀行口座番号が必要です。
- ・各保険によって様々ですが1～3ヶ月ほどで還付されます。
- ・原則的に本人および家族の方による申請が必要です。
- ・装具完成後2年以内に申請してください。
- ・老人医療については、さらに還付される場合がありますので、各市区町村役所へご相談ください。

### 2008年 北京パラリンピックイヤー

北京を目指して大阪府で活躍する  
アスリートを紹介したいと思います！

永易 雄さん(22歳 男性)



平成13年、中学校でサッカー小僧だった永易少年はプールに飛び込んで、プールの底に頭をぶつけてしまいました。第5頸髄不全損傷。そこから、永易少年の新しい人生が始まったのです。

入院中のリハビリは、「正直面倒臭かった」「頭にはサッカーのことしかなかった」そうです。そんな永易少年は、学校側の協力もあり中学校へ復学。もともと運動が好きだったこともあり、入院中にPTから聞いていた車椅子バスケットボールに興味を持ち体育館へ足を踏み入れました。上肢にも障害がある少年にとって、頸髄損傷者のバスケットボール(ツインバスケットボール)ではなく、脊髄損傷者のなかで対等にプレーすることは厳しいけれど、チームの雰囲気や仲間恵まれ、楽しかったそうです。そんなチームでオーストラリアへの遠征へ行った時の事。ある選手の紹介でウィルチェアラグビーの練習を見学する機会がありました。海外のプレーを目にし、「ラグビーなら世界を目指せる」と、帰国後、合宿などに参加するようになりメキメキと頭角を現していったわけです。高校生になっていた少年は、学業とバスケット、ラグビーと忙しい毎日だったようです。

高校卒業後、担当PTの紹介により職業訓練校を受験。めでたく合格し、学業に励んでいたところで就職が決まり、社会人としての人生が始まりました。時を同じくして、体格にも恵まれた永易選手はラグビーの日本選手代表候補に選ばれるまでになっていました。

現在は職場の理解もあり、ラグビーに打ち込む毎日だということです。ラグビーの魅力は、「ラグ車(ラグビー用の車椅子)に乗っての攻撃や衝突の激しさ、第一線で戦うことができ、世界を目指せる」ということです。

日本ウィルチェアラグビーは、北京パラリンピックの出場が決定しています。永易選手は、その代表選手に選ばれるのはもちろんのこと、世界を目指し、日夜練習に励まれています。

最後に、永易選手の北京に向けた一言。

**「待っとけっ！！」**

気合いの入った一言でした。

#### 編集後記

今回の「まあよんでみて」は、新人を対象に装具の支給方法について特集を組んでみました。意外と装具の業者とやり取りのみで流れをわかっていない人がたくさんおられるのではないかと思います。実は私もその一人です。これをもとに患者様の家族にもいろいろな情報を発信してください。今後も意外と知られていない事や役に立つ情報を発信していきたいと思っています。

ホームページもぜひご覧下さい。

[http://www.physiotherapist-osk.or.jp/page/top\\_f.html](http://www.physiotherapist-osk.or.jp/page/top_f.html)

